

春日部夢の森公園が全面開園しました

問 公園緑地課(内線7095)、埼玉県公園スタジアム課(TEL 048-830-5397)

埼玉県の「春日部夢の森公園」の北側公園が3/31に開園しました。

春日部夢の森公園は、「緑の少ない都市部に身近なみどり再生のシンボルとなる公園」をコンセプトに平成27年から県が整備を進め、令和3年10月に開園した南側公園と合わせて、今回全面開園となりました。

北側公園には高さ9メートルの築山、調整池、草原や大型休憩舎などが整備されており、南側公園と同様に自然との触れ合いを体感できる公園となっています。

[位置図]



- 駐車場①…47台
- 駐車場②…30台(うち障がい者用2台)
- 駐車場③…50台(うち障がい者用2台)

アクセス

- ▶ 東武伊勢崎線…春日部駅(西口側)から、バス「かすかべ温泉」行きに乗車、「かすかべ温泉」停留所で下車、徒歩7分
- ▶ 東武野田線…豊春駅(東口)から、徒歩27分



詳しくは▲



市民意識調査を実施しました

問 シティセールス広報課(内線2178)

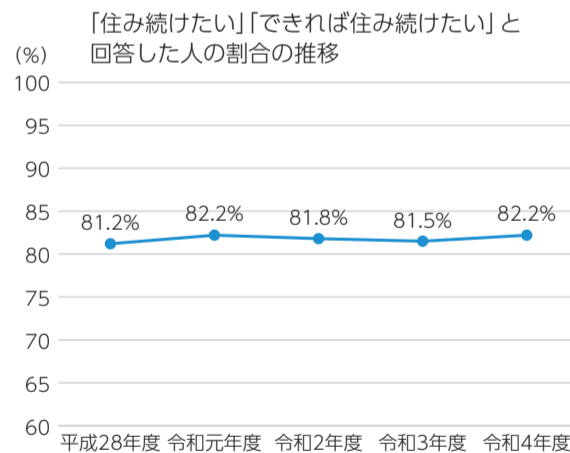
この調査は、市民の皆さんの意識や行動についての調査を行うことで、市の現状およびまちづくりの課題を把握し、今後の市政運営に活用するために実施したものです。

調査の詳しい内容は、市WEBで公開している他、公民館などで閲覧できます。

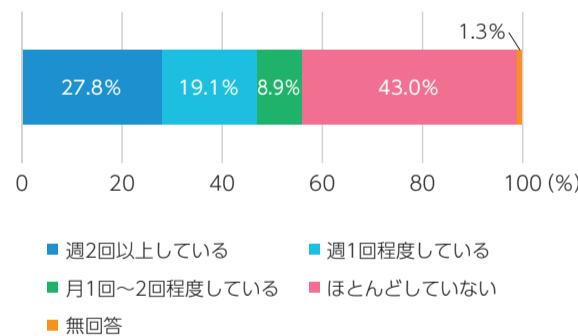


調査結果の一部を紹介します

問 「これからも春日部市に住みたいと思いますか」



問 「健康維持・増進のために、意識的に運動をしていますか」



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が100パーセントになっていません



えせ同和行為を排除しましょう

— 埼玉えせ同和行為対策強化月間 —

問 人権共生課(内線2434)、社会教育課(内線4814)

本市を含む埼玉12市町では、毎年4月を「埼玉えせ同和行為対策強化月間」と定め、部落差別に対する正しい理解の妨げとなっている「えせ同和行為」の排除を呼び掛けています。

「えせ同和行為」とは

部落差別の解消を口実に、個人、企業、行政機関などに対して「図書等物品購入の強要」や「寄付金・賛助金の強要」など、不法・不当な行為や要求をすることです。

このような行為は、要求を受けた人が被害に遭うだけでなく、部落差別に対する誤った認識を植えつけ、新たな偏見や差別意識を生

む要因となり、部落差別解消の大きな障害要因となる許されない行為です。

えせ同和行為は断固拒否しましょう

えせ同和行為の要求に応じる必要はありません。その場しのぎの安易な対応は、かえって相手につけ込まれます。終始、き然とした態度で断固拒否し、えせ同和行為を排除しましょう。

部落差別に対する正しい理解を深めましょう

部落差別とは、被差別部落に「住んでいる」あるいは「生まれた」ということを理由とした不合理な偏見により、結婚や就職、日常生活な

どの面で差別を受け、基本的人権が侵害されるという、日本の歴史の中で生み出され、現在もなお存在する我が国固有の重大な人権問題です。埼玉12市町では「部落差別の解消の推進に関する法律」や「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を踏まえ、部落差別に対する正しい理解が図られるよう、人権教育・啓発活動を推進しています。

